

用途ラベル：自己紹介で止まる瞬間

## 会話の入口で起きる「停滞」

### 現状の確認

「何してる人だっけ」で会話が終わる  
プロフィールを見られても印象が残らない  
発信が良くても誰の言葉か伝わらない



初対面で分類されない / 名前より先に役割が見えない

入口で離脱される状態の打破

## なぜ、あなたの名乗りは届かないのか。

- 情報を並べるだけの自己紹介
- 名前と職業だけの名乗り
- 誰に向け、何を届ける人か不明

### 構造の欠落

#### 人柄が見えない / 構造のない紹介文

情報の羅列が、相手の記憶を妨げている

## 「足し算」の罠

### 発想のズレ

詳しく書けば伝わる  
抽象語で整えようとする  
肩書きだけで信頼を取る

### 情報の過多

趣味や経歴の足し算  
実績だけを前に出す  
読まれる前提の不在

入口を整える前に発信するリスク

用途ラベル：覚えられる型

## 記憶に刺さる「五段構成」

誰に → 何を → どう届けるか

【背景 + 行動】

共感される背景の一行 × 短い行動の一言

## 「〇〇の人」と言い切れる構造

## 一瞬で「役割」が伝わる

初対面 → 分類されやすくなる

プロフィールの入口 → 強くなる

発信の軸 → ぶれにくくなる

内容への信頼 → 乗りやすくなる

## 削ることで「芯」を出す

- 届けたい相手を一人書く
- 渡したい価値を一つ書く
- 自分らしい届け方を書く
- 共感される過去を一行で足す
- 結果や変化を一つ足す
- 声に出して読み、引っかかる箇所を削る

# 発信の入口を整える基準点

自己紹介の確認カード / 設計図

言葉が散らかった時の戻り先 / 説明過多を止めるチェック

「何を書けばいいか」を決定する資料

## 言葉を当て、反応を見る

いまの自己紹介を型に当てる  
足りない要素だけを書き足す  
プロフィールに入れ、実地で使う

迷ったら再確認。構造が合えば、一歩は軽い。